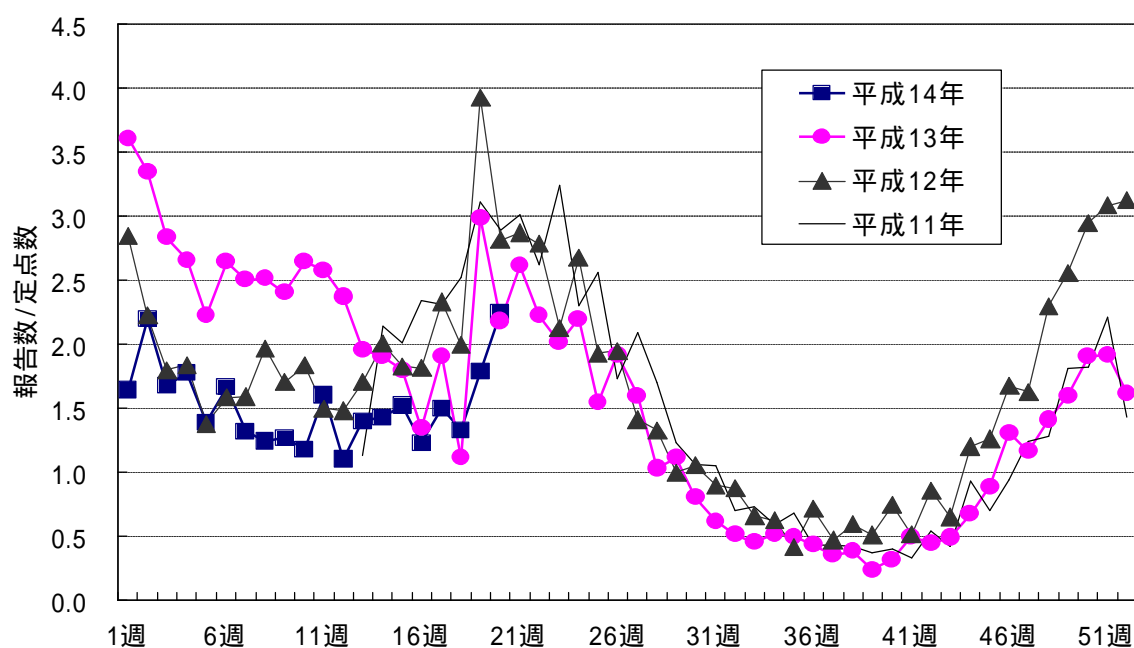


愛知県感染症情報

平成 14 年第 20 週 (5 月第 3 週)

< コメント >

- 手足口病、ヘルパンギーナは流行の兆しが見えてきました。
水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が目立ってきました。

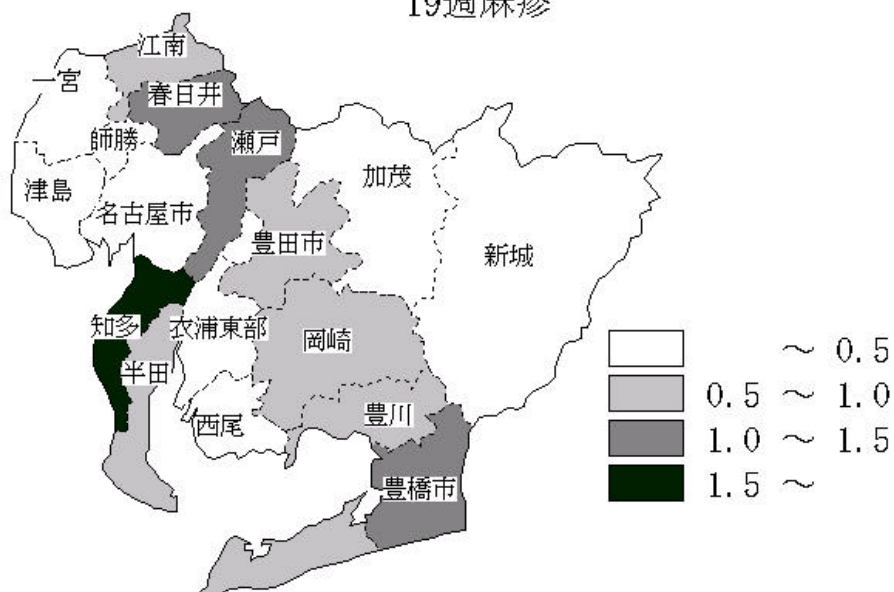


水痘 (名古屋市を含む。平成11年は、13週 (4月1日 ~)から)

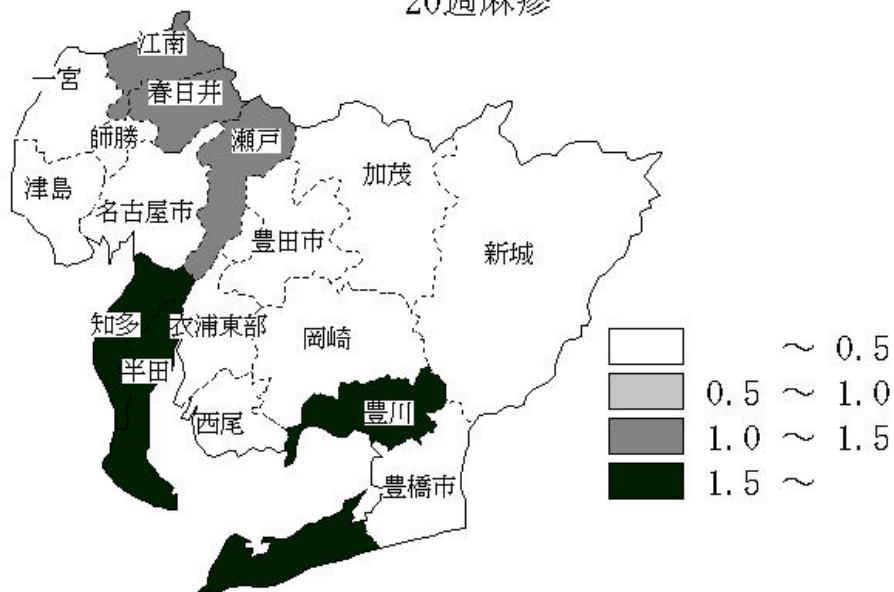
- 麻疹は引き続き流行中です。特に半田、知多、豊川で定点当たりの報告数が多くなっていますので注意が必要です。
麻疹の予防方法については、愛知県衛生研究所のホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>) をご覧ください。

麻疹の保健所別推移（名古屋市含む）

19週麻疹



20週麻疹



	19週	定点 当たり	20週	定点 当たり		19週	定点 当たり	20週	定点 当たり
名古屋市	17	0.24	29	0.41	岡崎	5	0.63	3	0.38
瀬戸	9	1.00	9	1.00	衣浦東部	0	0	2	0.18
津島	0	0	0	0	西尾	0	0	1	0.25
師勝	1	0.25	1	0.25	豊田市	7	0.88	3	0.38
一宮	5	0.42	5	0.42	加茂	1	0.33	1	0.33
春日井	11	1.22	10	1.11	豊橋市	10	1.25	2	0.25
江南	4	0.67	6	1.00	豊川	6	0.75	14	1.75
半田	5	0.83	9	1.50	新城	0	0	0	0
知多	11	1.57	29	4.14					

麻疹の流行発生警報は定点当たり 1.5 を越えた場合に発生します。

< 定点の先生方からのコメント >

● 尾張西部地区

- ・ O1 1歳男、14歳女、30歳女

O15 32歳男、O25 6歳男、O164 7歳男、O18 31歳女

(尾西市 城後小児科)

- ・ 男子1名 水痘と溶連菌との重複感染

(一宮市 後藤小児科医院)

- ・ おたふくの流行が見られる様になりました。

水痘の流行の第2波がはじまりました。

麻疹 1人、O18 2歳女、ブ菌 5歳女、O1 5歳男

(犬山市 武内医院)

- ・ 急性胃腸炎が今週多くなっています。麻疹、年長児のクラスで流行の保育園あり。すべてワクチン未接種。

無菌性髄膜炎で3人入院しました。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

- ・ 溶連菌感染症が増加しています。水痘、流行性耳下腺炎散発。

麻疹2名(兄弟でワクチン未接種、母親より感染)

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

- ・ 1歳4ヵ月児 ロタウイルス(+)でした。

(春日町 丹羽医院)

- ・ マイコプラズマ肺炎 10歳男

(師勝町 医療法人師勝クリニック)

- ・ 13歳女 マイコプラズマ肺炎

23歳男 6歳女 A型インフルエンザ

(師勝町 田中クリニック)

● 尾張東部地区

- ・ 手足口病、水痘、溶連菌感染症が比較的多くみられます。

26歳女でA型インフルエンザがありました。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

- ・ 麻疹1歳女2例、いずれも未接種児。

31歳女(ワクチン歴、既往歴不明)。

溶連菌感染症、水痘流行中。

マイコプラズマ感染症また目立ってきました。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

- ・ アデノウイルス感染症増加(迅速法で陽性)しています。

(尾張旭市 旭労災病院)

- ・ 10ヶ月女 水痘 + SSSS (ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)
(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
- ・ 手足口病が出はじめました。水痘の流行つづいています。
麻疹つづいています。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ 3歳女、溶連菌感染1名
11歳男、1歳男 手足口病みられました。
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ ムンプス、水痘、伝染性紅斑、麻疹あります。
(小牧市 小牧市民病院)
- 西三河地区
- ・ 7歳麻疹は修飾麻疹
(岡崎市 医療法人深田小児科)
- ・ 11歳男 病原性大腸菌O18 VT (-)
3歳男 カンピロバクター
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ 1歳男 病原性大腸菌O6 VT (-)
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 4歳男 マイコプラズマ肺炎
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
- ・ 9歳女、2歳女 カンピロバクター
3歳女 麻疹(ワクチン未接種)、先週報告分5歳女の妹
1歳男 百日咳(DPT未接種)
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 水痘が目立ちます。
乳幼児の嘔吐下痢症増加。
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ ヘルパンギーナ 3人
(知立市 宮谷クリニック)
- ・ 溶連菌感染症 2名ともSTREPテスト陽性
(西尾市 やすい小児科)
- ・ ムンプスが流行しています。
(三好町 三好町立三好病院)
- 東三河地区
- ・ 流行性耳下腺炎 2歳1名(姉よりうつる)、小学生1名
(豊橋市 キンバラ小児科)

- ・ 水痘と溶連菌が増えています。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
- ・ ヘルパンギーナが増えてきました。水痘も相変わらずみられます。
(豊橋市 あずまだこどもクリニック)
- ・ 麻疹の1名は名古屋在住の子。
(蒲郡市 蒲郡市民病院)
- ・ 今週になり急に夏かぜ様の発熱児が目立ってきました。
(田原町 かわせ小児科)

< 1～3類感染症の発生状況 >

- 腸管出血性大腸菌感染症 1名
豊田保健所から報告の23歳女。5/18初診、5/18診定。
菌型は O157 VT1 (+)。

< 全数把握の4類感染症の発生状況 >

- 急性ウイルス性肝炎 (B型) 患者 1名

< 定点把握の対象となる4類感染症の全国状況 >

- 第18週 (14年4月29日～5月5日)

いずれの疾患も定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べて特別多くはない。都道府県別ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が富山県 (定点当たり報告数 2.1)、水痘が福岡県 (3.1)、石川県 (2.9)、香川県 (2.8) など、ヘルパンギーナが宮崎県 (1.4)、佐賀県 (1.2) など、流行性耳下腺炎が宮崎県 (4.2)、山形県 (4.0) などから報告が多くなっている。

- 第19週 (14年5月6日～5月12日)

急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べてやや多い。都道府県別ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が富山県 (定点当たり報告数 2.2)、北海道 (2.0)、佐賀県 (2.0) など、水痘が石川県 (5.1)、富山県 (4.6)、鳥取県 (4.1) など、ヘルパンギーナが宮崎県 (2.9)、佐賀県 (2.5) など、流行性耳下腺炎が山形県 (4.5)、宮崎県 (4.0) など、急性出血性結膜炎が秋田県 (1.0)、長崎県 (0.6) などから報告が多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センターのホームページ

(<http://idsc.nih.gov/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

